

令和6年度指導計画（社会）

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	社会	総時数	140時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	帝国書院『中学生の公民〈よりよい社会を目指して〉』				
副教材等	正進社『公民の資料』 学友社『オールマイティ アクティブ社会中3（歴史Ⅲ・公民）』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

- ①地理的分野、歴史的分野との関連を図りながら、基本的な知識を身に付けさせる。
- ②具体的な事例について自分の意見をまとめさせたりすることにより、思考力、判断力、表現力を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代社会について見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連など理解し、その知識を身に付けている。	現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。	現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立ってよりよい社会を考え、公民としての自覚をもって責任を果たそうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1部 現代社会	第1章 現代社会と文化 第2章 現代社会をとらえる枠組み	さまざまな変化に直面している現代社会の特色や、そのなかでも伝統や文化を受け継ぎ、発展させることの大切さを理解させる。	12	評価シート 提出物
5	第2部 政治	第1章 日本国憲法	民主主義の理念が基盤になっている日本国憲法や基本的人権、民主主義や法の支配など理解させ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、資質・能力を身に付けさせる。	30	評価シート 定期考査 提出物
6					
7		第2章 民主政治	民主政治を発展させるため、個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するため、選挙制度、政党、国会・内閣・裁判所、地方自治などに着目して、身近な社会の課題に取り組むことの大切さを実感させ、政治への意識を高められるようにする。	36	評価シート 定期考査 提出物
8					
9					
10	第3部 経済	第1章 市場経済 第2章 財政	市場経済や経済の三主体など経済単元の基礎となる概念を理解させ、消費者、企業、政府それぞれの視点から、日本経済や財政などの課題に向き合い、持続可能な社会の実現に積極的に参画する意識を養えるようにする。	36	評価シート 定期考査 提出物
11					
12					
1	第4部	第1章 国際社会	紛争や貧困、地球環境問題などの地球的課題の現状を理解したうえで、国際社会のよりよい発展に向けて、国際社会やNGO、そして人々に求められる取り組みを考えられるようにする。	20	評価シート 定期考査 提出物
2					

3		第2章 課題の探求	持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探求する活動を通して、資質・能力を身に付けさせる。	6	評価シート 小テスト 提出物
---	--	-----------	--	---	----------------------

計140時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・問題集 (ニューコンパスノート「公共」2024 週末課題として提出あり。)
- ・長期休業中の課題 (長期休業終了後提出あり。)

8 担当者からの一言

「公共」は、主権者として社会を形成していくための基礎、基本を身に付けるための科目です。前期課程の「社会」でこれまで身に付けた知識を活かしながら、基礎事項をしっかりと理解し、考える力をつけてください。
(担当：小原沢 公啓)